

第3学年A組 道徳学習指導案

期 日 令和元年10月11日 第5校時

生徒数 男子14名 女子16名 計30名

指導者 教諭 平野 道子

1 主題名 きまりを守る 指導内容：遵法精神 公德心（C-10）

2 教材 「二通の手紙」（出典：新しい道徳3 付録3 東京書籍）

3 主題設定の理由

（1）道徳的価値について

中学校の内容項目C-10は、「法やきまりの意義を理解し、遵守するとともに、他の権利を重んじ義務を果たして、社会の秩序と規律を高めるように努める。」となっている。中学生では、人間が社会の中で生きているという自覚が深まり、法やきまりの意義を理解できるようになってくる。しかし、自我の発達が著しい時期でもあり、法やきまりを軽視したり反発したりすることもある。また、法やきまりによって保障される個人の権利は強く主張するものの、自分の果たすべき義務を果たそうとしない場面も少なくない。法やきまりは自他の生活や権利を守るためにあり、これを遵守し自らの義務を果たすことが秩序と規律ある社会を実現することを理解させるのは、中学生という時期に望ましい生活態度を育てていく上で重要である。

（2）生徒の実態について

これまでの学校生活を通して、集団生活をする上でルールやマナーを守ることが安心して生活するための基盤であることを学んできた。しかし、自分勝手な考えできまりや時間を守らず、全体に迷惑をかけている場面も少なくない。また、集団生活の中での自分の役割を自覚できず、他人まかせにしようとする場面も見られる。これから生徒たちは、進路決定という大きな節目を迎える。義務教育終了後は、進学して社会に出て行くことになり、この時期にしっかりとした規範意識を身に付け、よりよい社会を実現する意欲をもたせたい。

（3）教材について

本教材は、動物園の模範的職員だった元さんが、幼い姉弟への同情心からきまりを破って入場させたことで園内が大騒ぎになってしまい、その結果会社に解雇されるという内容である。保護者同伴でないのに入園させてしまう元さんの行動は、心情的には十分に理解できるものである。しかし、職員として入園についてのきまりを守ることも果たすべき義務であった。元さんの判断・行動の場面は、生徒にとって葛藤を引き起こすことが予想される。さらに二通の手紙について考えさせることで、きまりの意義、自他の権利と義務について考えを深めることができる教材である。

（4）指導について

導入時には動物の写真を提示し、小さい子どもたちにとっては動物園がとても魅力的な場所であることを生徒の経験から確認させる。また、場面を分けて読んだりイラストを提示したりすることによって、場面把握をしっかりとさせる。個人思考ではネームプレートを、グループトークの結果はホワイトボードを活用し、全体把握を容易に行いたい。ペアトーク・グループトークを取り入れ、道徳性の発達段階の異なる生徒どうしの相互作用によって思考を深めさせる。

4 本時の学習指導

（1）ねらい 元さんの行動と意思を考えることを通して、法や決まりについての意義を理解し、社会の秩序と規律を高めていこうとする意欲を培う。

(2) 展開

段階	学習活動 (○発問 ◎主発問)	教師の活動と手立て								
導入	<p>○身の回りのきまりやルールにはどんなものがあるだろう。</p> <p>1 想像したり, 自分のことを思い出したりして, 発表する。(個人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・憲法 ・校則 ・交通ルール ・スポーツのルール など 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習に興味・関心, 意欲をもたせる。 								
展開	<p>本時の学習課題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> きまりやルールは何のためにあるのだろうか? </div> <p>2 資料①の内容をつかむ。</p> <p>○元さんが姉弟を入園させるか、させないか悩んでいる理由は何か。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元さんの思いをしっかりと把握する。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">〈入園させたい〉</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">〈入園させられない〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・動物好きの2人に、動物を見せてやりたい。・弟の誕生日を祝ってやりたい。</td> <td>・保護者同伴という規則に反する。 ・入園時刻を過ぎている。</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 資料②の内容をつかむ。</p> <p>○2人の子どもを入園させた元さんの行動に、賛成か、反対か、その理由は何か。</p> <p>4 元さんの悩みを自分に引きつけて判断し、その理由を付して発表する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%; text-align: center;">〈賛成〉</th> <th style="width: 50%; text-align: center;">〈反対〉</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・入園料を持って来ていた。・子どもだけでも大丈夫だろう。・弟の誕生日に動物を見せたいという姉の気持ちに感動した。</td> <td>・入園終了時刻を過ぎている。・小さな子は保護者同伴という規則になっている。・規則は守らないといけない。</td> </tr> </tbody> </table>	〈入園させたい〉	〈入園させられない〉	・動物好きの2人に、動物を見せてやりたい。・弟の誕生日を祝ってやりたい。	・保護者同伴という規則に反する。 ・入園時刻を過ぎている。	〈賛成〉	〈反対〉	・入園料を持って来ていた。・子どもだけでも大丈夫だろう。・弟の誕生日に動物を見せたいという姉の気持ちに感動した。	・入園終了時刻を過ぎている。・小さな子は保護者同伴という規則になっている。・規則は守らないといけない。	<ul style="list-style-type: none"> ・場面や状況を想像させながら聞かせる。 ・個人→ペアトークで思考を深めさせる。 ・道徳的論点に気付かせる。 ・ネームプレートで全員の意思表示をさせる。 ・グループトーク→まなボードで発表させる。 ・判断の理由付けを大切にさせる。 ・切り返し発問を行い、葛藤する元さんと同調できる場を設定する。 ・グループトーク→まなボードで発表させる。
〈入園させたい〉	〈入園させられない〉									
・動物好きの2人に、動物を見せてやりたい。・弟の誕生日を祝ってやりたい。	・保護者同伴という規則に反する。 ・入園時刻を過ぎている。									
〈賛成〉	〈反対〉									
・入園料を持って来ていた。・子どもだけでも大丈夫だろう。・弟の誕生日に動物を見せたいという姉の気持ちに感動した。	・入園終了時刻を過ぎている。・小さな子は保護者同伴という規則になっている。・規則は守らないといけない。									
終末	<p>5 資料③の内容をつかむ。</p> <p>◎元さんの言う「この年になって初めて考えさせられたこと」とは何だったのだろう。</p> <p>6 元さんが、二通の手紙や今回の件から考えさせられたことを話し合い、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の気持ちによって行動することが良い結果を招くとは限らない。 ・規則を破ると、結局は人に迷惑をかけることになる。 <p>7 この学習で考えたこと, 感じたことを個人でまとめ, Aシートに記入し, シールを貼る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則は, 集団生活には必要。 ・良かれと思っても, 規則を破ってはいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活を振り返らせ, 道徳的実践意欲と態度を喚起させる。 								

(3) 評価

- ・元さんの姉弟への思いに共感しつつも、法や規則は自他の生活を守るためにあることを深く考えている。
(発言内容、ワークシートの記述内容)